

平成22年12月 7日

香川大学法学会講演会のお知らせ

香川大学法学部および法学会は法や政治を幅広い視野で考えるために毎年学外からゲスト・スピーカーを招いて講演会を共催してきました。

今回は、刑事法分野におけるジェンダーの研究について高い評価を得ており、北欧の法制度にも詳しい、琉球大学の矢野先生をお招きして、性犯罪の問題についてお話を伺います。本学の学生・院生・教員の他、学外からの参加も歓迎します。

【概要】

論題：「なぜ被害者が責められなければならないのか～性犯罪に潜む問題点～」

講師：矢野 恵美氏
(琉球大学・法務研究科 准教授)

日時：平成22年12月15日(水) 13:00～14:30

場所：香川大学法学部第3講義室(法学部棟2階)

主催：香川大学法学会

共催：香川大学法学部・香川大学愛媛大学連合法務研究科

参加料：無料

※ご来学の際は、公共交通機関をご利用下さい。

<講演者紹介>

矢野 恵美(やの・えみ)氏

慶應義塾大学法学部卒業後、早稲田大学法学研究科修士課程修了。

慶應義塾大学法学研究科後期博士課程退学。

博士課程在学中にストックホルム大学大学院犯罪学科留学を経て、現職。



問い合わせ先：

香川大学法学部資料室 尾崎 壽子

TEL：087-832-1744

FAX：087-832-1771